

カセットボンベ・エアゾール缶は必ず中身のガスを使いきって出してください!

チェック!

中身の有無を確認しましょう

振って中の音を聞いてください。
中身のガスが残っていると「シャカシャカ」と音がします。

チェック!

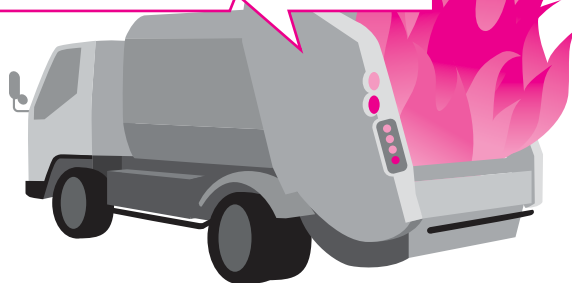
中身を使いきりましょう

必ず使いきってから、出してください。

※お住まいになっている各地域によって、分別の仕方や排出方法（穴を開けない・穴を開けるなど）が異なる場合があります。決められた方法で出してください。



毎年多くの
車両火災が起きています。




中身の残ったカセットボンベ・エアゾール缶を排出すると、**ごみ収集車両**の火災原因となります。

ごみ処理施設で、火災が発生する原因となります。

チェック!

どうしても使いきることができない時

カセットボンベ・エアゾール缶を最後まで使いきったはずなのに、まだ中身の音がする場合、商品に表示されているメーカーにお問い合わせください。

※カセットボンベにメーカー名が表示されていない場合は、社団法人日本ガス石油機器工業会
 [カセットボンベお客様センター] 0120-14-9996までお問い合わせください。



社団法人 日本ガス石油機器工業会

〒101-0046 東京都千代田区神田多町2-11 ガス石油機器会館 Tel:03-3252-6101(代) ホームページアドレス www.jgka.or.jp



財団法人 日本ガス機器検査協会

〒107-0052 東京都港区赤坂1-4-10 JIAビル Tel:03-5570-5981(代) ホームページアドレス www.jia-page.or.jp

社団法人 日本エアゾール協会

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル南館1359区(13F) Tel:03-3201-4047(代) ホームページアドレス www.aiaj.or.jp

エアゾール製品処理対策協議会

中央適正処理困難指定廃棄物対策協議会

中身(ガス)を残さないために

エアゾール缶は中身排出機構(残ガス排出機構)を使いましょう。

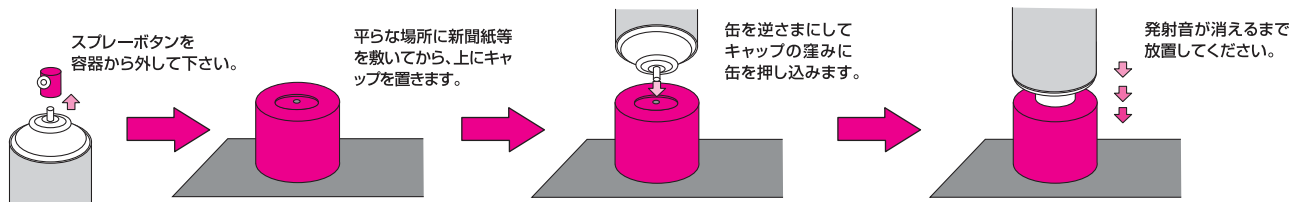
カセットボンベはヒートパネル搭載のカセットこんろを使いましょう。

エアゾール缶の中身排出機構(残ガス排出機構)の活用を!

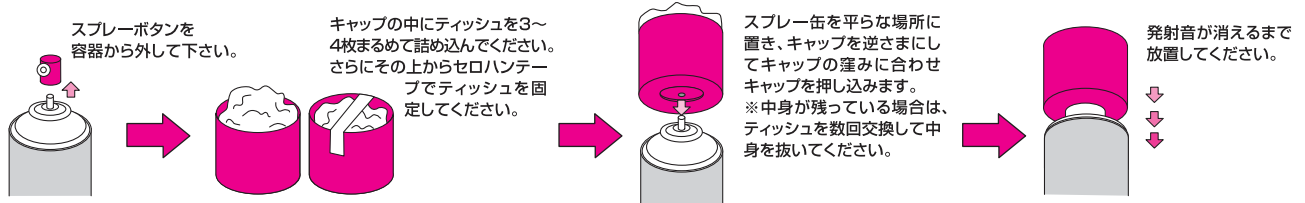
中身排出機構(残ガス排出機構)使用方法の代表例を示しました。下記以外にも商品の特質によりいろいろ工夫されております。エアゾール缶本体や添付の使用説明書に使用方法が記載されていますので、よくお読みになって使用ください。

●キャップの形状や特徴によって、排出方法が異なります。 ●必ず中身を使い切ってから、野外の風通しの良い場所でガス抜きをして下さい。

代表例その1



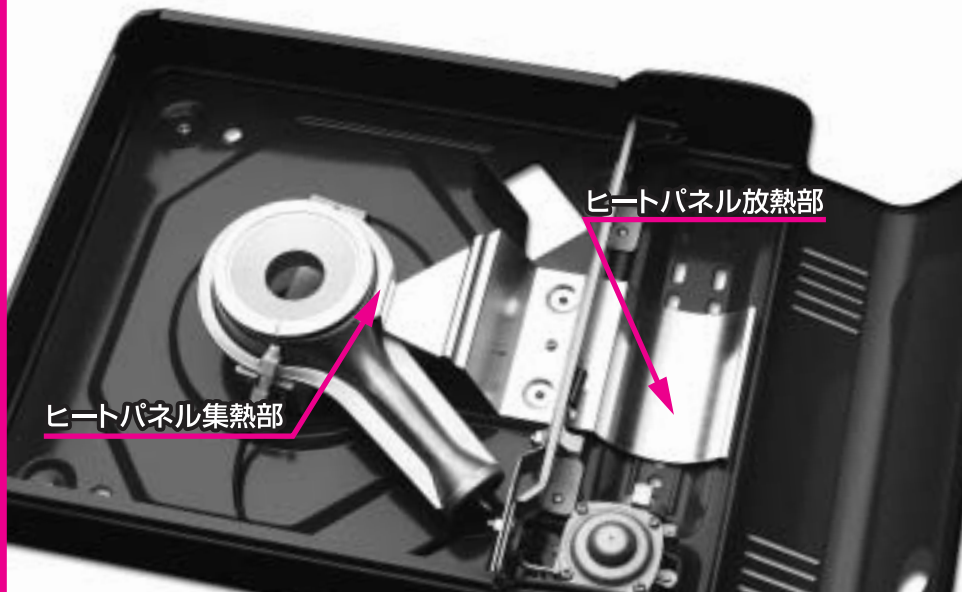
代表例その2



エアゾール缶の中身排出機構(残ガス排出機構)とは

エアゾール缶の中に残ったガスを確実、安全に抜くため工夫されたキャップです。この装着が促進されています。

(社)日本ガス石油機器工業会登録商品の
カセットこんろ^{*}は2007年4月生産分より ※2.3kW(2,000kcal/h)以上
ヒートパネルを搭載しております。



ヒートパネルとは?

(容器加熱装置)

カセットボンベは、使用中のガス酸化に伴い、酸化熱が奪われてガス圧と火力が落ちます。そのため、途中で火力が落ち、最後までカセットボンベ内のガスが使えない場合があります。そこで、必要となるのがヒートパネルです。使用中に、カセットボンベを適度に温める事で、ガス圧の低下を制御します。この働きにより、最後まで強い火力を維持し、カセットボンベ中のガスを最後まで消費することができます。

連続消費カロリー曲線

